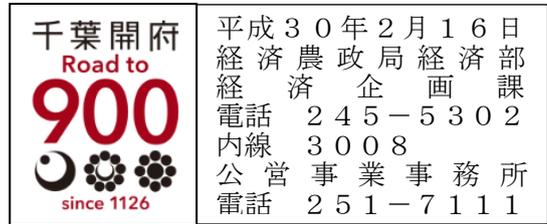




記者発表資料



千葉競輪場リニューアル（「（仮称）千葉公園ドーム」整備）事業の事業予定者が決定しました ～民間活力導入による多目的スポーツ施設の整備と運営～

千葉市では、施設が老朽化した千葉競輪場を、民間活力の導入により国際規格に準拠した走路を有する多目的スポーツ施設（「（仮称）千葉公園ドーム」）へ再整備するとともに、当該施設における新たな形の競輪（「（仮称）^{にーごーまる}250競輪」）による事業の継続に取り組むにあたり、民間事業者から事業提案を募集しました。

このたび、事業提案を審査し、事業予定者を決定しましたので、お知らせします。

1 事業予定者

日本写真判定株式会社（東京都千代田区富士見2丁目4番11号）

2 提案コンセプト等

(1) コンセプト

「千葉公園活性化の先駆け」として、「市民が誇れる場所」を目指す。

(2) 基本方針

「施設（モノ）」「市民（ヒト）」「収益（カネ）」の3要素が複合的に機能することで、地域活性化の基盤を創り、千葉公園一帯のネットワーク形成を図る。

ア 施設（モノ）

必要とされる機能を有し、「地域住民から愛される施設へ」

イ 市民（ヒト）

市民をはじめとした顧客に活用され、「千葉公園から「にぎわい」の輪を広げる」

ウ 収益（カネ）

事業化し収益を確保することで、「施設を街のプロフィットセンターに」

3 主な事業提案内容

(1) 施設整備

ア コンセプトデザイン

株式会社坂^{ばんしげる}茂建築設計

イ 施設概要

RC構造（一部他構造）、ドーム屋根、地上3階・地下1階 ※イメージは別紙参照。

・屋内に自転車競技の国際規格に準拠した周長250mの木製トラックを設置

・観客席数（常設）約3,000席

・レストラン、カフェ、ショップを設置 など

ウ 整備費用

70億円（概算）

(2) 施設において実施する事業

ア （仮称）250競輪等の競輪事業運営

※千葉市からの包括委託を受けて実施。

イ 競輪事業運営以外の事業

(ア) 自転車スポーツ関係

- ・国際、国内大会の開催
- ・アカデミー(サイクルスポーツ教室)の運営
- ・走路開放イベントの開催 など

(イ) 自転車スポーツ以外

- ・他のスポーツでの利用 (eスポーツ、ドローンスポーツなど)
- ・音楽ライブ等興行での利用
- ・各種展示会等での利用 など

※事業者の提案内容であり、詳細については今後の協議等を通じて決定。

4 事業者選定の経過と今後の流れ (予定)

平成29年11月10日	競輪事業運営関係事業者 (全4社) に参加意向を確認 (24日まで)
30日	事業提案の提出
平成30年 1月15日	外部有識者に意見聴取 (26日まで)
30日	千葉競輪場リニューアル事業事業者選定審査会による審査 事業予定者の決定
2月中	基本協定の締結 ※以降、個別契約等を締結し、事業者において事業着手。
平成29～30年度	現競輪場施設除却工事1期 (メインスタンド以外)
平成30・31年度	他場開催レースの場外発売と他場借上げ開催業務の包括委託 による実施
平成30～32年度	(仮称) 千葉公園ドーム整備
平成32年度以降	(仮称) 250競輪事業開始 現競輪場施設除却工事2期 (メインスタンド)

5 その他

(1) 現競輪場敷地内国有地の取得

- ・平成30年第1回定例会に財産取得議案を提出し、可決成立後速やかに土地売買契約を締結。

(2) 平成30年度以降 (仮称) 250競輪開始までの間を主とする他場借上げ開催

- ・(仮称) 千葉公園ドームの供用開始までの間の市営競輪開催について、他の競輪場を借り上げて実施。
- ・平成30年度について、開催節数は6節 (19日)、競輪場は松戸競輪場 (3節 (10日)) と川崎競輪場 (3節 (9日)) に決定した。開催日程については調整中。

(3) (仮称) 250競輪実施に向けた業界調整

- ・競輪業界としての検討を、「競輪最高会議」配下に「250KEIRINワーキンググループ」を平成29年4月に設置 (本市も8月より出席) して実施しており、競輪最高会議での業界としての (仮称) 250競輪実施の方針決定に向けて、具体的事項の調整中。